

平成25年度 第1回平田地域協議会 会議録（要約）

1. 日 時／平成25年4月24日（木）午前9時30分～正午

2. 場 所／平田総合支所 302号室

3. 出席者／（1）1号委員（団体推薦委員）

後藤金美委員、阿曾智子委員、伊藤市太委員、佐藤薫委員、
土田雄一委員、多田光吉委員、長谷部耕次委員、加藤勝子委員、
庄司美智子委員、土田伸委員・・・・・・・・・・計10名

（2）2号委員（識見委員）

阿部重敏委員、土田民子委員、阿部敬子委員（副会長）・・・・・・・・計3名

（3）3号委員（公募委員）

石黒由香委員、富樫文雄委員（会長）・・・・・・・・・・計2名

（4）酒田市

本間正巳酒田市長、
平田総合支所 石川忠春支所長兼市民福祉課長、
土田瑞穂地域振興課長、小松原茂建設産業課長、
地域振興課 富樫好課長補佐、佐藤雄二地域振興主査、
小松原毅地域振興主査兼係長（会議録作成者）・・・・・・・・・・計7名

出席者合計22名

4. 次 第／（1）開会

（2）酒田市長あいさつ

（3）委員・職員自己紹介

（4）地域協議会について

（5）会長・副会長の互選

(6) 会長・副会長あいさつ

(7) 会議録署名委員の選任

(8) 報告

①平成24年度 市長への報告内容について

②平成25年度 平田地域関連予算について

③平成24年度 コミュニティ振興会の事業実施状況について

(9) 協議

①平成25年度 平田地域協議会の開催予定について

②地域課題について

(10) 閉会

5. 会議録／(1) 開会（市長到着前の開会のあいさつ）

▶石川支所長

おはようございます。

本日は穏やかな天気の中、先ほどの市民憲章にもあったとおり、まさに鳥海山に見守られながらの第1回目の地域協議会となった。これから農作業も始まるが、桜も咲き始め、ワクワクするような季節に入ったと感じている。

合併して8年目を迎えている。委員の皆様には、平成25年度から2年の任期ということで、これから委嘱状を交付させていただく。今回は15名のうち、6名の方が新たな委員として就任される。皆様ご存知のとおり、地域協議会は合併前の平田町、八幡町、松山町に設置されている。その目的は、地域住民の意見を行政に反映させる、そして地域住民と行政との連携と協働を推し進め、コミュニティ組織の育成と強化を図っていくというものである。地域協議会については、後ほど説明させていただきたい。

平成25年度における平田地域の動きだが、飛鳥中学校と松山中学校については、平成26年4月の統合に向け、環境や組織体制の整備が終盤に入ってくる。校舎については、3教室の増築工事が行われている。今後は、体育館の改築やグラウンドの改修など施設の整備が進んでいく。校歌や校章については、これから協議を重ね、詰めていくことになる。

本間市長となり、所信表明に、「3総合支所管内の状況について、合併後7年を経過した現在を再評価する」ということが盛り込まれている。今後、地域の皆さんからご意見をうかがう作業に入っていくわけだが、地域協議会の皆様からいろいろなご意見をいただき、まとめ上げ、そこから見えてきた課題等については、平成26年度以降の施策に反映させていきたいと考えている。

・・・市長到着・・・

(2) 酒田市長あいさつ

▶本間市長

おはようございます。

本日は大変お忙しい中、任期2年のスタートとなる第1回目の地域協議会にお集まりいただき、ありがとうございます。新しく委員になられた方、また引き続きの方もおられると思うが、この地域協議会、よろしくお願ひ申し上げます。

ここ平田地域は、悠々の杜、十二滝、胎蔵山、経ヶ蔵山など自然が豊富であり、観光で売り出せる場所でもある。そういった意味で、東京の学校とのお付き合いであるとか、外部からの交流人口を増やそうという大きな目標に向けがんばっていただいていることに対し、心より感謝を申し上げたい。

2010年の酒田市の人口は、11万1千151人であった。それが2040年には7万1千170人となり、36パーセントも減るということになっている。これは、これまでの人口の推移をスライドさせただけのものだが、これを止めるには、皆様のお力があって、知恵があって、そこにキラリ光るこの平田地域があれば、人も集まってくるということになる。

委員の皆様からは、一生懸命に地域を活気づけていくような、いろいろな施策をご提言いただき、それを地域協議会の意見として出していただければありがたい。皆様からお知恵をお借りする、そしてこの地域を良くしていくという地域協議会であり、いろいろな意味で皆様からお世話になると思うので、よろしくお願ひ申し上げます。

(3) 委員・職員自己紹介

▶委員、職員による自己紹介

(4) 地域協議会について

- ▶土田地域振興課長（資料に沿って説明）

(5) 会長・副会長の互選

- ▶土田地域振興課長

会長と副会長の選任については、条例で委員の互選により定めるとなっている。

会長の選任について、事務局で手続きを進めてよろしいか伺います。

- ▶委員一同

異議なし。

- ▶土田地域振興課長

選任の方法については、自薦、他薦という方法があるが、立候補、あるいは推薦があればお願いしたい。

- ▶土田伸委員

会長に、富樫文雄委員を推薦したい。

- ▶土田地域振興課長

ほかに推薦、立候補がないようなので、富樫文雄委員を会長へ選任することについて、ご異議ございませんでしょうか。

- ▶委員一同

異議なし。

- ▶土田地域振興課長

異議ないようですので、富樫文雄委員を会長と決定いたします。

副会長の選任について、立候補、推薦、あるいは会長による指名もあるかと思うが、どのような方法がよろしいか伺います。

ご意見がないようですので、事務局としては、副会長は富樫会長からの指名を提案させていただきたい。よろしいでしょうか。

- ▶委員一同

異議なし。

- ▶富樫会長

皆様、会長に選出していただきありがとうございました。

副会長には、男女共同参画や女性の視点からの提案といった面から、阿部敬子委員をご提案申し上げたい。ご賛同をお願いいたします。

- ▶委員一同

異議なし。

(6) 会長・副会長あいさつ

▶富樫会長

地域住民のため、仲良く楽しく、委員みんなでがんばりましょう。よろしくお願ひ申し上げます。

▶阿部副会長

中山間部に住む者としてがんばっていきたいという思いを、常に持っている。皆様のご協力をお願いいたします。

(7) 会議録署名委員の選任

▶富樫会長

会議録署名委員として、後藤金美委員を選任いたします。

(8) 報告

①平成24年度 市長への報告内容について

▶土田地域振興課長（資料に沿って説明）

▶多田委員

市長への報告は年1回なのか。緊急な課題に対応できるのか。たとえば、ハクビシンによる被害などは農家にとって緊急の課題なのだが、地域協議会で出された場合、どういった対応になっていくのか。

▶土田地域振興課

地域協議会としては、平田地域全体に関わるような大きな課題への意見や提案について、市長に提案していただいている。地区が限定されるような個々の課題や、緊急な問題などについては、それぞれの担当課に直接ご相談いただき対応していく形となる。

▶石川支所長

これまでの地域協議会において、今のハクビシンような個別の課題についても、次第の「その他」などで話し合われてきた。地域協議会には総合支所の各課も出席しており、出された課題についての現状や対策についてご説明申し上げ、必要であれば、その後さらに本庁の所管課と連携しながら対応させていただいている。

地域協議会の場でなくても、地域の課題や要望についてはいつでも総合支所の各課へご相談いただきたい。

地域協議会の性格について確認の意味で説明させていただくと、一つは市長が皆さんからご意見をうかがいたい場合に、諮問という形をとる。もう一つは、地域振興などについてご協議いただき、1年間の協議内容や提案について年度末に市長へ報告をし、それを施策に反映させていく

という役割である。このあたりをご理解いただきたい。

②平成25年度 平田地域関連予算について

▶土田地域振興課長、石川支所長兼市民福祉課長、小松原建設産業課長
(資料に沿って説明)

▶後藤委員

胎蔵山の登山道整備について、昨年度から事業を実施しているが、今年度の予算はどのようになっているか。また、旧高畑中学校の校舎の解体は予算化されているのか。

▶小松原建設産業課長

観光物産施設管理運営事業の中で実施していく。

▶土田地域振興課

旧高畑中学校の校舎解体と跡地の整備については、要望も出されており、市としても受け止めているが、解体費用もかなりの額になるため調整しているところである。ただ、課題となっていた建物を貸し付けしていたという点については、契約を解消し、少しずつ進めているところである。

▶長谷部委員

ひらたタウンセンターの筋力トレーニング機器について、満杯状態で利用できず、帰っている方もいる。また平田体育館は床を剥いで土にしているが、その効果は上がっているのか。こういった施設の統廃合という考えはないのか。

▶石川支所長兼市民福祉課長

ひらたタウンセンターの筋力トレーニング機器について、待ち時間が長くて利用しにくい理由の一つに、ラボードというランニングマシンの待ち時間が非常に長いということが言われている。増築や他の施設の活用といった意見もあるが、市としては、現在民間が駅前に整備を予定している施設のワンフロアに、トレーニング施設を整備する計画を持っている。ひらたタウンセンターのトレーニング機器に対する要望については、酒田市全体のバランスも見ながら検討されている。

平田体育館については、床を剥いで土の状態にしており、ゲートボールやテニス、野球の練習に活用されている。人数など、数字は持ち合わせていない。

▶長谷部委員

待ち時間が多くて苦情が出るほどの人たちを、100パーセント受け入れることで、この地域に大きな人の交流が生まれ、平田の名前も発信される。地域協議会として、こういった意見を出していくべきと考える。

「庄内ひらた目ん玉まつり」は、動く人数が3千人とも4千人ともいわれているが、「田沢川ダムまつり」と予算の額が逆転している。今年度予算に、庄内ひらた目ん玉まつりの予算増を要望したところ減額された。地域協議会として、この地域をどう活性化させ守っていくかという議論をしているが、逆行している。こういう状況を解消していくのが、住民サイドの意見である。これについてはいかがか。

▶小松原建設産業課長

おっしゃるとおり、来場者数については庄内ひらた目ん玉まつりの方が多き状況である。今年度については、この予算でなんとか盛況なものにしていきたい。来年度については、検証、考察をしながら向かっていきたい。

▶多田委員

長谷部委員の意見に賛成である。こういった意見があったとき、各委員も賛成や反対を示すべきである。

農業の現状において、「人・農地プラン推進事業」「6次産業化等推進事業」はとても大切な事業となる。平田地域で若い新規就農者が出たときには、写真も出して大きく紹介してもらいたい。6次産業化については、平田げんげん米もネット販売の業者から買ってもらっているが、こういったネット販売と連携していくための予算も必要である。

▶小松原建設産業課長

おっしゃるとおり、農地の集積と新規就農者の確保が一番重要だと理解しており、大変貴重なご意見をいただいた。6次産業化については、3総合支所の建設産業課で動いているところであるが、ご意見をいただいたような、販路までつなげていくことについても勉強していきたい。平田地域では良いものを作っており、若い担い手もいるので、何らかの支援ができないかと考えている。

③平成24年度 コミュニティ振興会の事業実施状況について

- ▶後藤金美委員、阿曾智子委員、伊藤市太委員、佐藤薫委員、土田雄一委員、土田地域振興課長（資料に沿って説明）

(9) 協議

①平成25年度 平田地域協議会の開催予定について

- ▶土田地域振興課長（資料に沿って説明）

▶富樫会長

委員の皆様からは、各回の案件にとらわれず、地域課題について積極的な提案活動を行っていただきたい。

▶長谷部委員

市長の所信表明に「合併後7年を経過した現在を再評価する作業に取り組む」とあるが、この取り組みを実のある内容の充実したものにしてもらいたい。この調査も含め、住民の方から地域の有り様をしっかりと判断、評価していただきたい。

②地域課題について

▶後藤委員

胎蔵山に県内外から多くの観光客が訪れているが、道路の関係で大型バスが登山口まで入れず、胎蔵ロマン会からも何とかしてもらいたいと言われている。また車で来た登山客は道路に駐車しているため、駐車場の整備についても、来年度の予算で力を入れていただきたい。

▶小松原建設産業課長

来年度に向けた、要望と受け止めさせていただきたい。

▶富樫会長

酒田地区のグリーンツーリズムの会議においても、全体的に駐車場が課題であると出されており、よろしくお願ひしたい。

▶長谷部委員

現在ふれあい商工会では、砂越駅の管理業務の委託を受けているが、行動は求められるが予算は削られており、商工会としては手を引きたいと考えている。地域全体の問題として、委員の皆さんからも認識を共有していただきたい。

▶富樫会長

他の無人駅における対応など、事務局で調査をし、事例なども見ながら皆さんで協議したい。

▶石川支所長

商工港湾課へ砂越駅の管理状況なども確認し、後日委員の皆さんにご報告させていただきたい。

▶土田伸委員

飛鳥中学校グラウンドの改修工事が行なわれ、南側へ移動になった。その結果、走幅跳などに使用していた砂場のあった場所が、走る部分、トラックになったのだが、雨の日に埋めたためグジャグジャで、子どもたちが走れず、安心して体育の授業も部活動もできない状態となっている。

また現在の体育館について、地域の皆さんから用途変更をして残してもらえないかという意見を多く聞く。一輪車なども、現在飛鳥中学校の体育館で練習しているが、こういった団体の練習場の確保ということも

ある。これらの件について、地域協議会のお力をお借りし、何とかしていただければと思っている。

▶富樫会長

私も現場を確認したところ、今年は雨が多いということもあるが、授業にも差し障りがあるなど、市民に不便をかけているというのが現状である。統合し、素晴らしい学校にしていくためにも、よろしく願いたい。

▶石川支所長

グラウンドの関係については、学校から教育委員会へ報告されているはずである。また、この場でも土田伸委員から発言があったが、地域協議会で出された意見については、事務局としても会長と話をしながら、その都度がそれぞれの所管課へつないでいる。この件については、会長から教育委員会へつないでいただき、できるものは改善していくといった流れがいいのではないかと考える。

(10) 閉会

▶阿部敬子副会長

6名の新委員を加えての、平成25年度第1回目となる平田地域協議会を閉会いたします。ありがとうございました。